

震災編

在宅避難? 避難所生活? それとも...? イメージできていますか? あなたの避難生活

横浜市では震度5強以上の地震が発生すると、区内35か所の避難所(地域防災拠点)が開設されます。皆さんは避難所がどんな場所かご存じでしょうか? 必ずやってくる大地震に備えて、避難所のことや、避難の種類について知っておきましょう。



避難所の現実

すごい人数...

新型コロナウイルスへの警戒が続く中、大地震のときの避難所では、「密閉・密集・密接」の3条件がそろうやすく、小規模の集団感染が発生する懸念があります。

● 備蓄食料は?
 水は1人あたり700ml
 食料はクラッカーが1袋とパン2つ

● トイレは?
 仮設トイレは避難所に2~5個設置
 臭いや汚れが気になる

● 居住スペースは?
 1人分は約2㎡ (畳1畳より少し広いくらい)
 冷暖房はないことが多い
 明かりも1人ひとりの手元を照らせるほどはない

在宅避難への
ご協力をお願いします。

避難とは「難を避けること」です。難を避けるため、密を避けるため、在宅避難など、安全が確保できる選択肢を多く持てるように、日ごろから備えておくことが大切です。

感染症の心配もあるし、震災時も家で過ごしたいね。

とりあえず避難所に行けば水や食料が揃って、快適に過ごせるのかと... 思っていた...

自宅はどうか? 在宅避難できるかな?

チェック① OK! 飛散防止フィルム

チェック② OK! 家具転倒防止器具

チェック③ OK! 電池式ランタン (電池は大丈夫?)

チェック④ OK! 感震ブレーカー

チェック⑤ OK! ラジオ

家の中は大丈夫そう!!

★感染症拡大防止のためにも、マスクや体温計を忘れずに。



困ったときは避難所に行ってみよう!

あなたの避難所は、どこかわかりますか?

避難所へ行くにはどの道を通ればよいでしょうか? 避難経路を確認しておきましょう。「防災・区民マップ」や「わいわい防災マップ」を活用ください。

在宅避難をしている人たちにしてもさまざまなサポートを行います

みんなに心配をかけないためにも私たちが無事なことを伝えよう。

家で暮らせない人の生活の場になる!

自宅や親戚の家などでの生活が難しい場合は、迷わず避難所へ。いざというときの避難所生活に備えて、非常用持出し品の中に自分の必需品を用意しておきましょう。

在宅避難している人も救援物資をもらうことができます!

自宅で生活していることを伝え、自宅の物資がなくなった場合は、避難所でもらうことができます。

いざという時に、自分や家族の安全を確保する選択肢の1つとして、「親戚・友人宅への避難」も検討してみてください。避難行動を想像し、家の中の危険箇所の確認・備蓄準備や、友人・親戚に連絡をしてみるなど、今からできる備えはたくさんあります。

私は友人の家に避難させてもらったわ。日ごろから関係が作れて良かった。

発災時の情報収集の方法は他にもあります。裏面を確認してください!

お手伝いも大事!

避難所は地域で運営しています。皆さんも「お客様」ではなく「運営者」です! 避難所のお手伝いをお願いします。

薬を用意してきてよかった。

何か手伝えることがありますか?

ありがとうございます!

情報が集まってくる!

ライフラインやボランティア、安否情報などさまざまな情報は避難所に集まります。自分の安否を伝えるとともに、自宅で避難生活をしている人も正しい情報を入力しましょう。

でも... こんなことを聞いたことがあるけど... 熊本地震のライフライン復旧まで

ガス	水道	下水道	電気
約16日	約32日	約61日	約6日

ライフラインはいつ復旧するのかな...?

食べものは3日しかないよ?

こんなことを聞いたことがあるけど... 熊本地震のライフライン復旧まで

困るのはトイレだね。

薬など自分に必要なものを多めに備蓄しているよ!

これなら自宅でも過ごせそうね!

レトルトのカレーたくさん買っておいしかったわ。

水・食料は3食・3日分用意しているわよ!

ガスボンベとカセットコンロで温かいものが食べられるね!